

# 令和4年度美作保健所運営協議会議事録概要

日時：令和4年11月10日（木）

13:30～14:50

場所：津山保健センターホール

（オンライン併用）

## 1 開会

保健所長挨拶

## 2 議事

### （1）会長及び副会長の選出

会 長：野口 薫 委員（津山市副市長）

副会長：宮本 亨 委員（津山市医師会長）

塩路 康信 委員（美作市医師会長）

### （2）美作保健所の運営について（事務局説明）

①新型コロナウイルス感染症対策について 資料1 参照

②美作保健所・健康福祉部の組織と事務、企画調整情報課

③保健課・勝英地域保健課

④衛生課

資料2 参照

### 【質疑応答・意見交換】

#### （副会長）

- ・健診についてであるが、集団健診でがん検診を実施しており、コロナの影響で多くの市町村は個別健診へ移行している。集団健診だと受診率は高くなり、個別健診ではかかりつけ医を見つけるという点でメリットがあるが、保健所として、集団健診と個別健診への意見はあるか。

#### （事務局）

- ・住民が受診しやすい体制を構築していくということで、市町村や先生方と現状に応じた体制ができればよいと考えている。どちらが望ましいということではないかと思う。

#### （事務局）

- ・健診の受診率の低下や精検の受診率の低下を懸念されているようだが、県全体で大きな受診率の低下とはなっていないものの、コロナの影響で受診率の低下は見られており、市町村と連携してどちらがよい体制なのか引き続き共有していきたい。

#### （副会長）

- ・梅毒が増えているようだが、県や保健所で HIV の相談窓口や HP を活用した啓発はしているのか。

**(事務局)**

- ・県のHPでは具体的な情報を掲載している。保健所のHPは検査や相談の窓口のみの掲載であるが、今後、より積極的に啓発を考えていきたい。

**(事務局)**

- ・梅毒が県内で増えており、全国的にも話題となっている。県で梅毒が増えている理由は諸説あるが、一次予防をしっかり行い、県民への啓発や幅広く一次診療にあたる先生方にも周知してもらえよう啓発していきたい。

**(副会長)**

- ・梅毒については、県南がほとんどである。県南で広がるといざれば県北にも影響が出るがコロナほどではない。
- ・お願いになるが、この対策としてこの事業をするとの報告だとその結果が明確でない。すぐに結果はでないかもしれないが、継続的に進めていく上で変化がみられる場合もある。事業の報告だけでなく、今後はある程度成果が見えるデータをお願いしたい。
- ・コロナの全数把握について、軽症の人は自分で登録しているが、どの程度の割合か。

**(事務局)**

- ・4割程度に留まっている。自宅療養サポートセンターの役割としては、いざという時の相談先となり、より多くの方に登録してもらえると急変した場合にも対応がはやい。引き続き周知をしてまいりたい。
- ・今回コロナで多くの人が感染しているが、診断を受けていない人や発熱の症状があっても診断されずに療養される人がこの冬増えていく。登録センターに登録していない場合でもどう療養してもらおうか、県民へ周知していく取組を進めてまいりたい。

**3 閉会**